

活動に至った理由・背景

当団体は若者たちによる環境保全活動や地域づくり活動に取り組んできました。地域の荒れた里山の整備や、竹林の整備などを若者と地域の方々と一緒に行ってきました。宇都宮市平石地区の自治会の方からご連絡いただき、地域の雑木林や小川を整備して子どもやお年寄りが自然にしたしながら散歩できるようになしたいとご相談いただいたことがきっかけで、本事業がスタートしました。計画については、地域の人人が中心となって作りました。その計画をもとに、私たちは、たくさんの人たちと力を合わせて、地域の人々に喜ばれる環境をつくりたいという思いで活動しています。若者たちはボランティア活動を通じて新しい経験を積み、異なる世代と協力、交流をする機会を得て有意義な時間にもなっています。

活動地域の概要

宇都宮市平石地区は、平出城跡や雷電神社などの文化遺産と、カワセミが飛来する山下川及びその周辺の里山などの貴重な自然が残る地区です。しかしながら、その魅力を知る人は少なく、また十分な活用もされていません。そこで現在、平石地区まちづくり協議会を中心に、地区に残る魅力的な資源を遊歩道で結び、地区内外の人達が散策できる 10,000 歩コースづくりの計画を進めています。点在する資源を散策路で結び、面としての価値を高めることをねらっています。当団体は、これまでの環境保全活動の経験と多くの若者たちを活動へ参加させてきた実績を活かし、自然コースの整備において中心的役割を果たしています。

設立年月 2009 年 6 月
法人化年月 2010 年 10 月
メンバー数 会員 40 名
代表者名 塚本 竜也 (つかもと たつや)
〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢 2584-1
TEL.0285-81-5373 FAX.0285-81-5373
tochigi@conservation-corps.jp
<http://conservation-corps.jp/tochigi/>

団体のミッション
私たちは若者たちとの環境保全活動を通じて、
より良い地域づくりと次の時代を担う
若者の育成に取り組んでいます。

宇都宮市平石地区の
魅力と地域のきずなを結ぶ、
10,000 歩散策コースづくり

特定非営利活動法人トチギ環境未来基地
「栃木県宇都宮市」



▽NEWS▽

まち情報

平野宮町は、大木と280年では、天孫の御台と、11世紀に開拓しました。あのへ60ほどの方々に、お見送りいたしました。ありがとうございました！

・内山一郎、地元の中学生と一緒に清掃作業を行なう予定です。

もっと知りたい！平石地区的イトコロ

□平石工業地区公園 □平出電鉄社 □平出工業地
宇都宮市平出工業地
宇都宮市平出町3848
019-661-5972
029-663-5813
駐車場 有

□底林寺/平出坂
宇都宮市平出町3848
029-661-0645
駐車場 有

駐車場について
マ前は現在は2年生、京・又兵衛によれば未だ、花や草に關する相談が可能。鉢花園を設けておられました。御神体は、大神。他十社も祀られています。また、2イセンの利益がある花園で、花見や盆栽等も楽しめます。

また、面積はあります。田舎町の花見や盆栽等も楽しめます。

活動の流れ

2009年
平石地区にある豊かな自然の魅力を多くの人に知ってもらいたい、特色に魅了されたいなどという想いが活動のきっかけとなりました。

2010年
宇都宮市立の月川事務所として山下川の美化を行なわれました。また、2イセンの花園や盆栽花の花植えも地元の中学生と一緒に実施されました。

2011年
里山内に池を造り、子供たちが遊び場が完成されました。現在、楽しむボランティア活動中です。

**山下川と遊歩道で結ぶ
一万歩コース 平石地区を歩こう MAP**

マップ

運営団体

- 平石地区まちづくり協議会
- 平石地区
- 平石地区東店自治会
- 山下川地区沿い会
- 山下川地区環境未来委員会

*現在一緒に活動してくださる方々を募集しています！

よこそ、平石地区へ！
ここには、伝統のある歴史と文化のシンボルの鳥居神社や先耕神、自然豊かな山下川や里山がひときわ力があります。

東門は、山下川から、新たな魅力を一緒につくりませんか？
また、散策コースに出発です。

□平出電鉄社
宇都宮市平出町3848
029-661-0645
駐車場 有

□平出工業地区公園
宇都宮市平出町3848
029-663-5813
駐車場 有

□底林寺/平出坂
宇都宮市平出町3848
029-661-0645
駐車場 有

□あさひが丘
宇都宮市平出町3848
029-661-0645
駐車場 有

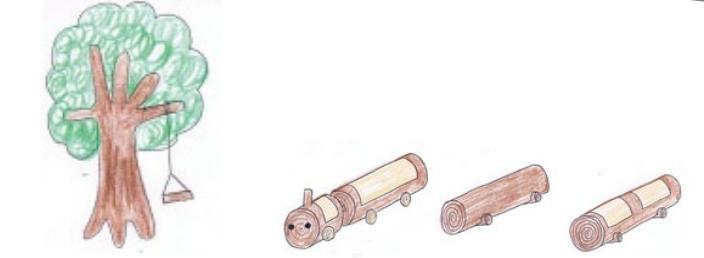
□山下川
宇都宮市平出町3848
029-661-0645
駐車場 有

平石地区遊歩道コースとは？
ロードの一つである平石地区の魅力を満喫できる見どころです。美しく、涼しく流れます。これから整備していく予定です。

学校区内でもあるこのポイントは、アプローチもあり、学生の座力づくりにピッタリな場所です。

一 壱浦。プラノの年成 ハマジマツ。年成

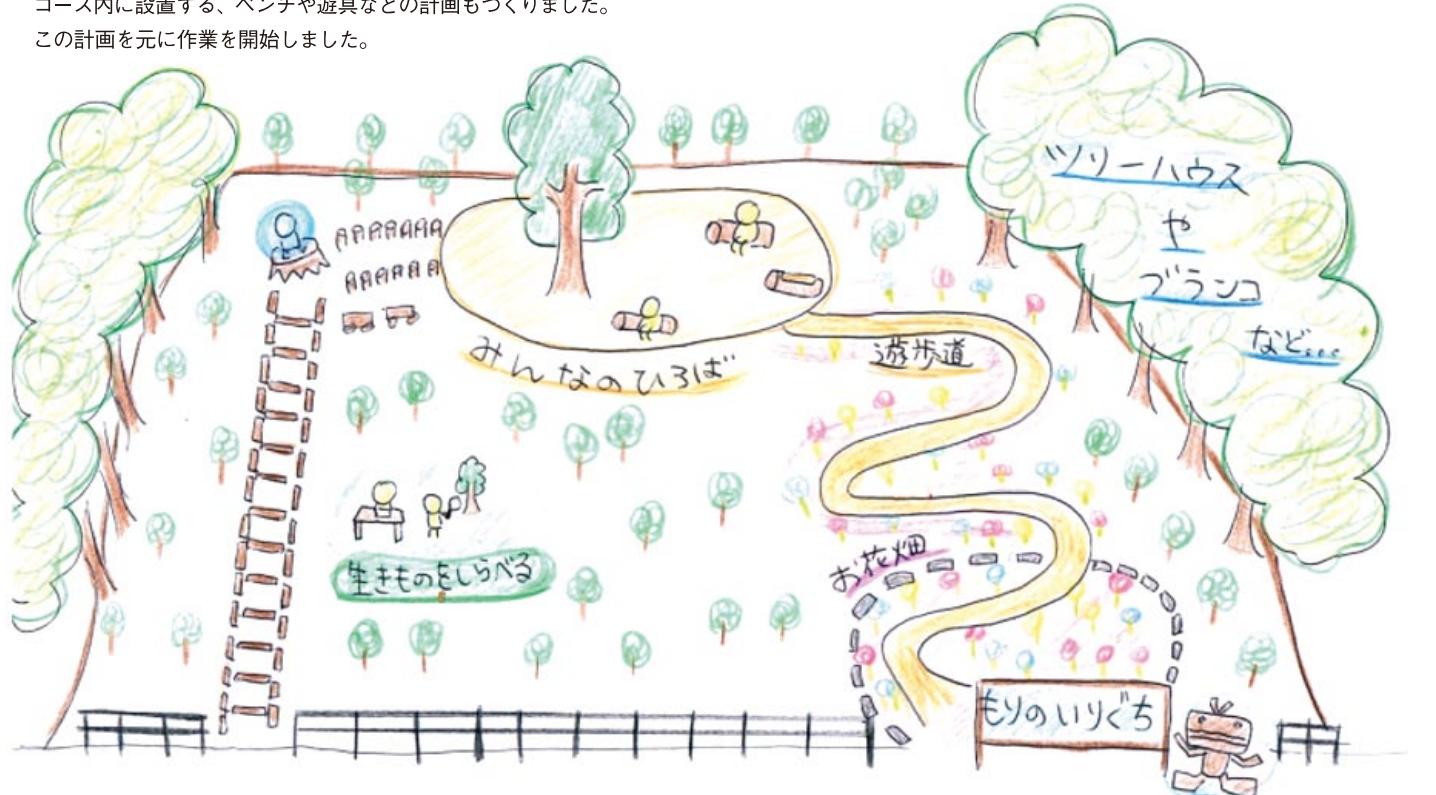
まずはしっかりと計画をつくろうと、平石地区まちづくり協議会の皆さんや周辺自治会のみなさんとの話し合いをもとに、
（）（）（）歩道コースの完成イメージ図や整備計画を完成させること。



雑木林(ひらりの里あさひが丘と命名)整備計画

コース内に設置する、ベンチや遊具などの計画もつくりました。

この計画を元に作業を開始しました。



以下の活動を平成24年4月～平成25年3月末までの間に、39日間、延べ400人の方々と共に行いました。

みんなに
親しんでもらえる



2 — 10,000歩コースの一部、

斜面の雑木林の整備

作業の初めに、雑木林は全体的に藪化していましたので、草刈をしました。ある程度刈ったところで、遊歩道のコースを選定し、歩道づくりを行いました。急なところには階段をつくりました。また、近くに大きな病院があり、病院の散歩コースとしても利用したいという声があったので、車いすでも通ることができるように、ゆるやかなスロープであがれる道も作りました。

続いて、雑木林斜面上の広場を整備し、散歩する人が憩えるようにベンチとテーブルを設置しました。

子どもたちが森で遊べるように、いくつかの遊具も作りました。

整備をしていると、いろいろな面白いアイデアが集まってきた。お年寄りが体を動かしたり雨の日でも過ごせるような屋根つきの小屋も作ることになり、多くの地元の人たちとともに建てました。そして、おおよその整備ができたのち、入口2ヶ所に看板をつくり設置しました。遠くからでも目立つので、興味を持った人が入口に近づいてください。この雑木林の整備に一番時間をかけました。



上から
2012年5月 伐木処理
2012年5月 階段づくり（2枚）
2012年5月 遊具づくり
2012年5月 ベンチ・テーブル



遊歩道づくり





2012年5月 土入れ

5 — その他の成果

10,000歩コースの自然体験コース整備をきっかけに、山下川を地元の人たちがもっと活用したり管理しやすくなるため、山下川河川愛護会が結成されました。流域の自治会の方がメンバーとして入り、10,000歩コースにかかるところだけでなく、川全体をきれいにしていこうという機運がうまれました。

これらの整備を行うにあたり、多くの人たちの協力を得ました。まずは当団体の主幹事業である若者たちが3ヶ月間共同生活しながらチームでボランティア活動を行う、Conservation Corps プログラムの参加者が週2日程度作業を行いました。この長期間のボランティアが中心となって、地元や他団体からのボランティアの方々の活動などをコーディネートしました。

若者自立支援団体との協力による活動も週1日程度のペースで行いました。一般社団法人ともぎ青少年自立支援センターや若者サポートステーションを利用する若者たちが、グループ活動や体力づくり、新しい経験を積むために、定期的に活動に参加してくださいました。慣れない作業であってもとても丁寧に作業をしてくれました。

地元の鬼怒中学校と、宇都宮市の陽西中学校の中学生とともに作業を行いました。ある程度「ひらりの里あさひが丘」の整備

ができた8月には、地元の人たちに紹介もかねて、バーベキュー大会と花火見学会を行いました。当日はあいにくの天気でしたが、たくさんの方に集まっていたとき、10,000歩

歩コースについて知つていただくことができました。

3 — 10,000歩コースの一部、山下川の整備

カワセミも飛来する貴重な山下川の自然を散歩する人たちが満喫できるように、整備や清掃作業を行いました。市役所の協力も得て、歩道上に砂利を敷きかなり歩きやすくすることができます。また、土手の部分は、もともとある自然を生かしつつ、地元の人たちからいただいた球根などを端に植えました。この山下川歩道沿いにもベンチを制作し、設置しました。四季折々の花が咲き人気のコースになってきています。



右上から
2012年5月 山下川 地元中学生と活動
2012年8月 花火大会鑑賞会
2012年9月 陽西中学校との活動
2012年10月 小屋作り
2013年1月 森の枝葉はどんどん焼きで
2013年3月 山下川 清掃
2013年3月 山下川 草刈り

今後の予定

10,000歩コースが無事完成しました。

今後は、このコースがもっと魅力的なものになるよう、整備と企画両面から充実させていくよう計画しています。

1—整備について

あさひが丘の雑木林の整備は、階段やベンチなどの補修を必要に応じて続けていきながら、より地域の人々に愛される魅力的な場所にするために、2つのことを計画しています。

ひとつは、斜面を利用して、花壇をつくり、そこに地域のマスクットキャラクターである「ひらりちゃん」をお花でつくることです。それにより平石地区のコースということをもっとアピールできると考えています。もう一つは、子どもの利用も比較的多いので、遊具を充実させることです。ブランコや木登りの場所など自然を生かした遊具を増やしていく予定です。

2—企画について

平成24年度も、10,000歩コースを利用して、ウォーキング大会や、森で遊ぶ活動を行ってきましたが、より多くの人に楽しんでもらえるような企画を計画しています。年間計画をつくり、作成したMAPに情報を取り入れ、月に1回、四季折々の活動を行います。春は健康増進

委員会のみなさまと協力し、ウォーキング大会を開催します。歩くことを楽しみながら地域内外の様々な人と交流できる企画です。夏には、花火大会と合わせたイベントや作業交流会を行います。地元小中学生との共同作業なども継続していきます。このような企画に参加いただいた方に今度はボランティアとして作業に参加していただきなど、活動の発展にもつなげていきたいです。

3—持続可能な活動にするために

助成金がなくとも活動を継続させ、よい環境の維持とプログラムの発展を目指し地域内での資金作りに取り組みます。具体的には、ひらりの里応援隊という地元グループをつくり、募金や寄付の呼びかけを行います。また、散策コースマップを改定し、地元の商店などの広告も載せ、協賛金を得ることも計画しています。長く続けていけるように仕組みを整えます。



団体設立の経緯

自然環境の保全・地域づくりと、次代を担う若者の育成の両立を使命の両輪として設立しました。里山の整備、子どもの森づくり、環境教育などの環境保全活動、地域のボランティア活動、交流の促進に取り組むことが活動の柱の一つです。同時に、その実践活動を通して、次代を担う若者の育成、活動のリーダーを育むための様々な取り組みも行っています。主幹事業として、米国で大きな成果を上げている Conservation Corps プログラムをモデルとした「若者のチームによる長期間のボランティアプログラム」を実施しています。また、短期の環境保全ボランティア活動も多数開催し、年間延べ 1,000 人を超える若者たちと現場で活動しています。